

審判員派遣報告書

1	派遣事業名 四国中学校総合体育大会	2	派遣期日 平成29年 8月5日、6日
3	報告者名 三谷 修司	4	派遣先 高松市香川総合体育館

5 大会概要 および 大会結果			
大会名称	四国中学校総合体育大会	大会期間	平成29年 8月5日、6日
大会内容			

6 担当したGame					
No	期日	対戦カード	R/U	相手審判	ゲーム雑感
1	8月5日	北伊予一石井	R	長谷川(香川)	1p石井がリードをしたが、北伊予もそこから追いつける好ゲームとなった。
2	8月6日	城東一丸亀西	R	二宮(愛媛)	OF、DFすべてにおいて丸亀西が城東を圧倒し、優位にゲームを進めていった。
3					
4					

7	審判会議・その他ミーティング等内容、審判技術・判定基準等に関する事、全体の感想および提言等
<p>○初日 1ゲームを通してトラベリングと手に関する判定が、曖昧になってしまった。特に、手に関してはゲームの最初に判定すべきものがあった。そこを逃してしまうと自分たちが苦しくなってしまうので、当たり前のことではあるが、ゲームの立ち上がりをしっかり判定しなければならない。トラベリングに関しては、両チームに同じようにということを意識はしたが、そのあたりを主審としてゲームコントロールすることが大切である。</p> <p>○二日目 全国大会出場が決まるゲームであるということで特に選手たちが今までやってきたことをコートで発揮できるように審判としての役割を果たすということが一番に考えた。できるだけいらない笛をはずさないようにすること、駄目なものをあっさり吹くことを二人で協力しながらできたと思う。反省としては、ジャンプボールシチュエーションが多いゲームだったので、TOとの矢印確認と、次のシチュエーションはどちらのボールになることを頭に入れて、コートに立つことによって、ゲームの流れに合った判定やゲームの終わらせ方がスムーズにできたように思う。上級としてそういうこともふまえて判定をしていかなければならないと思った。</p> <p>○全体を通して 二日間を通して感じたことは、やはりトラベリングの判定が全体的に甘いように感じた。この大会までにそれぞれの県でトラベリングに対して判定の研修が必要だと思えます。中体連として松山カップ、香川カップなどで重点的にやっていきたいと思えます。また、今後は3POもやっていく方向になると思うので、派遣人数も含めて今後の課題であると思えます。</p>	